

情報開示一覧表

研修機関情報	法人情報	法人格 社会福祉法人	
	法人名称	社会福祉法人よいち福祉会	
	住所等	〒046-0003 北海道余市郡余市町黒川町1丁目1番地2 ℡0135-22-5350	
	代表者名 事務連絡	理事長 亀尾 毅 理事長・総合施設長 亀尾 毅	
研修機関情報	事業所名称	フルーツ・シャトーよいち介護職員初任者研修	
	住所等	〒046-0003 北海道余市郡余市町黒川町1丁目1番地2 ℡0135-22-5350	
	理念	介護に携わる者が、業務を遂行する上で最低限の知識・技術とそれを実践する際の考え方のプロセスを身につけ、基本的な介護業務を行えるようにすることを目的とし、地域福祉の向上に寄与する。	
	学則 研修施設設備	別紙学則による 研修施設一学則別紙4による 設備 備一介護実習施設内に演習に係る入浴装置、ベッド、トイレ、その他福祉用具等の設備備品が整備されている。	
研修の概要	対象	定めなし	
	研修期間	研修期間-2月 研修日程-平成26年7月14日～平成26年9月5日 時間数-学則別紙1による	
	定員	定員-40名 指導者数-25名	
	研修受講の流れ	募集-開講の3週間前から募集し、1週間前に締め切る 申し込み-募集案内に記載されている申込用紙に、氏名・連絡先、申込の動機等を記載の上、研修機関に提出	
	費用	65,000円	
	留意事項 特徴	当法人内の関係介護保険事業所の協力のもとに実施されております。これら関係事業所のバックアップのもとで行われる講座なので、講義から実技実習まで安心して受講していただけます。研修終了後には交流会を予定しており、本研修終了後、就職希望者には各介護サービス事業所の紹介も予定しております。	
研修事業情報	課程編成 責任者	理事長・総合施設長 亀尾 毅	
	研修カリキュラム	科目別シラバス 別紙「研修日程及びカリキュラム」による 科目別時間数 学則別紙1「カリキュラム」・別紙「研修日程及びカリキュラムの時間帯及び予定時間欄」による 科目別担当講師 学則別紙3「講師一覧」・別紙「研修日程及びカリキュラムの現役職及び講師名欄」による 科目別特徴 別紙「研修日程及びカリキュラムの学習内容及び必要備品等欄」による	
	修了評価	修了評価の方法 学則「7 修了認定」による	
	実習施設	協力実習機関 の名称・住所等	特別養護老人ホームフルーツ・シャトーよいち http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2013_024_kani=true&JigyosyoCd=0172500068-00&PrefCd=01&VersionCd=024
		協力実習機関 実習担当者名	別紙「研修日程及びカリキュラムの現役職及び講師名欄」による
		講師・実習担当 の名称・住所等	別紙「研修日程カリキュラムの学習内容欄」による
実習中 指導者名・内容			
協力実習機関 における延べ 実習者数	特別養護老人ホーム フルーツ・シャトーよいち 介護員養成研修2級課程 210名(平成15年度34名・平成16年度39名・平成17年度26名・平成18年度16名・平成19年度13名 平成20年度16名・平成21年度17名・平成22年度15名・平成23年度第1回8名・平成23年度第2回8名 平成24年度第1回9名 平成24年度第2回9名) 介護職員初任者研修 14名(平成25年度14名)		
講師情報	籍・職・資格 担当教科	学則別紙3「講師一覧」・別紙「研修日程及びカリキュラムの現役職及び講師名欄」による	
実績情報	過去研修 実施回数	介護員養成研修2級課程 計 12回(平成15年度1回・平成16年度1回・平成17年度1回・平成18年度1回・平成19年度1回・平成20年度1回・平成21年度1回・平成22年度1回・平成23年度2回・平成24年度2回) 介護職員初任者研修 計 1回(平成25年度1回)	
	過去研修 延参加者数	介護員養成研修2級課程 延210名(平成15年度34名・平成16年度39名・平成17年度26名・平成18年度16名・平成19年度13名・平成20年度16名 平成21年度17名・平成22年度15名・平成23年度第1回8名・平成23年度第2回8名・平成24年度第1回9名・平成24年度第2回9名) 介護職員初任者研修 延14名(平成25年度14名)	
連絡先等	申込・資料請求 法人・事業所の 若手担当者名簿	「フルーツ・シャトーよいち介護職員初任者研修係」までお電話でご連絡下さい。℡0135-22-5350 役職・氏名-理事長・総合施設長 亀尾 毅 連絡先-〒046-0003 北海道余市郡余市町黒川町1丁目1番地2 ℡0135-22-5350	
	URL届出	http://www.fruit.or.jp	

学 則

1 研修の目的

介護に携わる者が、業務を遂行する上で最低限の知識・技術とそれを実践する際の考え方のプロセスを身につけ、基本的な介護業務を行えるようにすることを目的とし、地域福祉の向上に寄与する。

2 研修の名称

フルーツ・シャトーよいち 介護職員初任者研修

3 研修の要旨

事業所の所在地	研修形態	修業年限	研修期間	定員（人）	受講料（円）	受講対象者
余市町	通学	8ヵ月	2ヵ月	40名	65,000円	定め無し

4 受講手続

(1) 募集時期

開講の3週間前から募集し、1週間前に締め切る

(2) 受講料納入方法

法人指定の銀行口座に振り込み納付

(3) 受講料返還方法

受講者希望の銀行口座へ振り込み返還

5 カリキュラム

別紙1による。

6 主要テキスト

中央法規出版 介護職員初任者研修テキスト

7 修了認定

(1) 出欠の確認方法

出席簿による確認

各教科の開始前に出欠確認を行う。

(2) 成績の評定方法

振り返りにおいて、各教科の内容を列挙・概説・説明できることを基本とする。
実技演習において学習した内容を習得していることを各演習において実技内容で評価する。
最終的に筆記試験を行い、全体の60%以上の成績をおさめることを原則とした評定を行う。

(3) 修了の認定方法

通学方式により、「8補講の取扱い」後段の場合を除き、研修教科の全てに出席しなければならない。

又、講義・演習の全てに参加することに併せて修了試験を受験し、60%の正解をしたものが全過程修了とする。但し、60%に満たない場合は、追試を実施し一定程度の学習内容が習得されたと事業責任者が判断したものを修了とする。

(4) 修了証明書

修了が認定された者には、別紙2の修了証明書を交付する。

8 補講の取扱い

やむを得ない理由により受講者が講義科目を欠席した場合、当該教科につき補講を実施する。ただし、補講の実施が困難であるときは、欠席した教科を担当する講師が定める課題によりレポートを提出させ、採点の結果60点以上の評価があった者については出席として取り扱う。

又、演習について欠席した場合にはレポートではなく補講を実施する。

9 退学規定

(1) 受講者が退学しようとするときは、所定の退学届を提出すること。

(2) 受講者が当会の定める諸規定を守らず、又受講生の本分にもとる次の行為があったときは、退学を命ずることがある。

ア. 性行不良で改善の見込みがないとき。

イ. 学力劣等で修了の見込みがないとき。

ウ. 正当な理由なくして出席が常でないもの。

エ. 研修の秩序を乱しているもの。

10 講師

別紙3による

11 実習施設

別紙4による

12 その他

- 注1 事業者が学校等の場合で、法令上定めている学則があっても、介護職員初任者研修に関する学則を別途定めるものとする。
- 2 事業者は、学則そのものを提出する（本様式は、例示である。）。要綱10(1)に掲げる項目については、その内容が含まれるならば、別の名称であっても、項目を統合、追加しても構わない。なお、項目によっては、必要に応じて、別紙として添付すること。
- 3 項目ごとの内容は、以下の点に留意する。
- (1) 「研修の形態」は、講義の実施方法（昼間、夜間及び通信の別）を記載すること。
 - (2) 「修業年限」は、要綱4(3)の期間内であること。
 - (3) 「研修期間」は、研修（講義、演習、実習）の開始から修了までの標準期間を、年、月又は日を単位として記載すること。例 1年、3か月、90日
 - (4) 「受講料」は、講習料、教材料、実習料等受講者が共通して負担しなければならない費用の総額であって、1人分を記載すること。
 - (5) 「カリキュラム」は、別紙1に定める科目（項目）を含み、科目（項目）名、研修時間数等を記載すること。
 - (6) 「出欠の確認」は、講義・演習、実習において出欠を確認する方法、出席簿等について、記載すること。
 - (7) 「成績の評定方法」及び「修了の認定方法」は、要綱12を満たすものであること。修了するには、すべての科目（項目）を受講しなければならないこと。
 - (8) 「補講の取扱い」は、例えば、補講の対象者、受講費用、上限時間数等を記載すること。
 - (9) 「退学規定」は、退学の手続方法（受講者から退学を求める場合と事業者が一方的に退学を命じる場合の方法等）を記載すること。
 - (10) 「講師」は、講師名、担当科目（項目）、資格等を事業所ごとに記載すること。
 - (11) 「実習施設」は、施設名、住所、設置者等を事業所ごとに記載すること。
 - (12) 「講師」、「実習施設」は、別紙として、それぞれ添付3号様式、添付5号様式を利用して構わない。

別紙1

カリキュラム

教科名	時間数
1. 職務の理解	6
2. 介護における尊厳の保持・自立支援	9
3. 介護の基本	6
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9
5. 介護におけるコミュニケーション技術	6
6. 老化の理解	6
7. 認知症の理解	6
8. 障害の理解	3
9. こころとからだのしくみと生活支援技術	75
10. 振り返り	4
合 計	130

第 号

修了証明書

氏 名

年 月 日生

介護保険法施行令（平成十年政令
第四百十二号）第三条第一項第二号
に掲げる研修の課程（介護職員初任
者研修）を修了したことを証明する。

平成 年 月 日

社会福祉法人よいち福祉会

理事長 亀尾 毅

第 号

修了証明書（携帯用）

氏 名

年 月 日生

介護保険法施行令（平成十年政令第四百十二号）第三条
第一項第二号に掲げる研修の課程（介護職員初任者研修）
を修了したことを証明する。

平成 年 月 日

社会福祉法人よいち福祉会

理事長 亀尾 毅

講師一覧

事業所の所在地 余市町

講師調査番号	氏名	担当科目（項目）	資格名	専兼別	備考
1	本庄 頼賢	介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護	社会福祉士	兼	教科変更
2	阿部 珠恵	職務の理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解 こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ・Ⅲ 生活支援技術の講義：演習 施設実習	介護福祉士	兼	教科削除
3	吉崎 春恵	障害の理解 ③家族の心理、かかわり支援の理解	社会福祉士	兼	教科変更
4	玉置 典子	介護における尊厳の保持・自立支援 ②自立に向けた介護 こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義：演習 ④生活と家事 振り返り ①振り返り ②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	介護福祉士	兼	
5	菊地 健	介護の基本 ①介護職の役割、専門性と多職種との連携 ②介護職の職業倫理	介護福祉士	兼	
6	黒田野花香	介護の基本 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全	介護福祉士	兼	
7	川村 真	介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ①介護保険制度	行政関係職員	兼	新任
8	上村 友成	介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ②障害者総合支援制度及びその他制度	行政関係職員	兼	新任
9	山田真由美	介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ③医療との連携とリハビリテーション こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義：演習 ⑫死に行く人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	看護師	兼	教科変更
10	小畑 勝裕	職務の理解 ①多様なサービスの理解	介護支援専門員	兼	新任
11	成田 正和	介護におけるコミュニケーション技術 ②介護におけるチームのコミュニケーション こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義：演習 ⑨入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅲ 生活支援技術の講義：演習 ⑭総合生活支援技術演習	介護福祉士	兼	教科追加

講師調書 番号	氏名	担当科目（項目）	資格名	専兼別	備考
12	高井 由美	老化の理解 ①老化に伴うところとからだの変化と日常	介護福祉士	兼	
13	橋本 操	老化の理解 ②高齢者と健康	准看護師	兼	新任
14	若林 洋子	認知症の理解 ①認知症を取り巻く状況 ③認知症に伴うところとからだの変化と日常生活 ④家族への支援	介護福祉士	兼	
15	青塚 佳奈	ところとからだのしくみと生活支援技術Ⅰ 基本知識の学習 ①介護の基本的な考え方 ところとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義：演習 ⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立 に向けた介護	介護福祉士	兼	
16	徳田 友香	ところとからだのしくみと生活支援技術Ⅰ 基本知識の学習 ②介護に関するところのしくみの基礎的理解	介護福祉士	兼	
17	加藤 梨紗	介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション ところとからだのしくみと生活支援技術Ⅲ 生活支援技術の講義：演習 ⑬介護過程の基礎理解	介護福祉士	兼	教科変更・追加
18	坪 千秋	ところとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義：演習 ⑤快適な居住環境整備と介護	介護福祉士	兼	
19	北畠美沙子	ところとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義：演習 ⑥整容に関連してところとからだのしくみと自立 に向けた介護	介護福祉士	兼	
20	佐藤千恵子	認知症の理解 ②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	准看護師	兼	新任
21	関 みゆき	ところとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義：演習 ⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立 に向けた介護	准看護師	兼	
22	三浦 延幸	ところとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義：演習 ⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立 に向けた介護	介護福祉士	兼	
23	細山 孝子	障害の理解 ①障害の基礎的理解 ②障害の医学的側面、生活障害、心理、行動の特徴 、かかわり支援などの基礎知識	准看護師	兼	新任
24	絹 香織	ところとからだのしくみと生活支援技術Ⅰ 基本知識の学習 ③介護に関するところとからだのしくみの基礎的理解	介護福祉士	兼	新任

事業所の所在地 余市町

講師調書 番号	氏名	担当科目（項目）	資格名	専兼別	備考
25	浅田 南	こころとからだのしくみと生活支援技術Ⅱ 生活支援技術の講義：演習 ⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと 自立に向けた介護	介護福祉士	兼	新任

注1 講義及び演習を担当する者について記載すること。

2 講義を通信で行う場合の添削責任者及び面接指導者についても記載し、「備考」にその旨記載すること。

介護職員初任者研修日程及びカリキュラム

実施団体名 社会福祉法人よいち福祉会

日付	時間帯	予定時間	科目名	項目名	学習内容	担当者(予定)	講師要件	必要備品等
7月14日(月)	17:00～17:30	0.5			・開講式終了後オリエンテーション	主催者		
	17:30～20:40 (休憩10分含)	3.0		①多様なサービスの理解	介護保険サービス 介護保険外サービス等	地域包括支援センター 管理者 小畑勝裕	ケアプラン作成3年以上	
7月15日(火)	17:30～20:40 (休憩10分含)	3.0	職務の理解	②介護職の仕事内容や働く現場の理解	居宅・施設の仕事内容等	特養 施設長補佐 兼介護支援専門員 阿部珠恵	介護福祉士3年以上	
7月16日(水)	17:30～20:40 (休憩10分含)	3.0		①人権と尊厳を支える介護	個人の尊重・ICF・QOL	特養 施設長兼 介護支援専門員 本荘頼貴	社会福祉士3年以上	
7月17日(木)	17:30～20:40 (休憩10分含)	3.0	介護における尊厳を支える介護	②自立に向けた介護	自立支援・介護予防の考え方等	特養 援助課長 玉置典子	介護福祉士3年以上	
7月18日(金)	17:30～20:40 (休憩10分含)	3.0						
7月22日(火)	17:30～20:40 (休憩10分含)	3.0	介護の基本①	①介護職の役割、専門性と多職種との連携 ②介護職の仕事内容や職業倫理	訪問と施設サービスの違い 重度化防止の視点 倫理の意義等	特養 援助係長 菊地健	介護福祉士3年以上	
7月23日(水)	17:30～20:40 (休憩10分含)	3.0	老化の理解①	①老化に伴うことからのからだの変化と日常	老年期の発達と心身の変化 特徴等	特養 援助係長 高井由美	介護福祉士3年以上	
7月24日(木)	17:30～20:40 (休憩10分含)	3.0		①介護保険制度	予防システムへの転換 制度の仕組み等	余市町民生部 高齢者福祉課長 川村真	行政担当課	
7月25日(金)	17:30～20:40 (休憩10分含)	3.0	介護・福祉サービスの理解と医療との関係	②障害者総合支援制度及びその他制度	障害の概念・ICF	余市町民生部 町民福祉課長 上村友成	行政担当課	
7月28日(月)	17:30～20:40 (休憩10分含)	3.0		③医療との連携とリハビリテーション	医行為と介護 リハビリの理念	特養 医務課長補佐 山田真由美	看護師業務3年以上	
7月29日(火)	17:30～20:40 (休憩10分含)	3.0		①介護におけるコミュニケーション	傾聴・共感の態度 障害に応じたコミュニケーション等	特養 援助課長補佐 加藤梨紗	介護福祉士3年以上	
7月30日(水)	17:30～20:40 (休憩10分含)	3.0	介護におけるコミュニケーション技術	②介護におけるチームのコミュニケーション	記録の意義・目的 援助計画書等	特養 援助課長補佐 兼介護支援専門員 成田正和	介護福祉士3年以上	
7月31日(木)	17:30～20:40 (休憩10分含)	3.0	介護の基本②	③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護職の安全	事故分析の手法と視点 介護職の健康管理	特養 援助係長 黒田野花香	介護福祉士3年以上	
8月1日(金)	17:30～20:40 (休憩10分含)	3.0	老化の理解②	②高齢者と健康	筋力の低下・姿勢の変化等	サ高住 看護師 橋本操	看護師業務3年以上	
8月4日(月)	17:30～20:40 (休憩10分含)	3.0		②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	認知症の定義等	特養 看護師 佐藤千恵子	看護師業務3年以上	
8月5日(火)	17:30～20:40 (休憩10分含)	3.0	認知症の理解	①認知症を取り巻く状況 ③認知症に伴うことからのからだの変化と日常生活 ④家族への支援	認知症ケアの理念 ケアの視点・利用の対応等	GH 管理者兼 計画作成担当者 若林洋子	介護福祉士3年以上	
8月6日(水)	17:30～18:30	1.0	障害の理解	①障害の基礎的理解 ②障害の医学的側面、生活障害、心理、行動の特徴、かかわり支援などの基礎知識	ICFの分類・考え方 身体障害・知的障害等 障害理解・介護負担軽減等	特養 看護師 細山孝子	看護業務3年以上	
	18:40～20:40	2.0		③家族の心理、かかわり支援の理解		特養 相談課長兼 介護支援専門員 吉崎春恵	社会福祉士3年以上	
8月7日(木)	17:00～21:10 (休憩10分含)	4.0		①介護の基本的な考え方	理論に基づく介護 法的根拠に基づく介護等	特養 援助係長 青塚佳奈	介護福祉士3年以上	
8月8日(金)	17:30～20:40 (休憩10分含)	3.0	こころからのしくみと生活支援技術 I 基本知識の学習	②介護に関するこころのしくみの基礎的理解	学習・記憶・感情・意欲の基礎知識等	特養 主任援助員 徳田友香	介護福祉士3年以上	
8月11日(月)	17:30～20:40 (休憩10分含)	3.0		③介護に関するこころのしくみの基礎的理解	人体の各部分名称・ボディメカニクスの活用等	特養 援助員 精香織	介護福祉士3年以上	
8月12日(火)	17:00～21:10 (休憩10分含)	4.0		④生活と家事	生活歴・自立支援・多様な生活習慣等	特養 援助係長 玉置典子	介護福祉士3年以上	
8月13日(水)	17:30～20:40 (休憩10分含)	3.0	こころからのしくみと生活支援技術 II 生活支援技術の講義・演習	⑤快適な居住環境整備と介護	居住環境の基礎知識 福祉用具の留意点等	特養 主任援助員 兼介護支援専門員 坪千秋	介護福祉士3年以上	車いす等
8月14日(木)	17:30～20:30 (休憩10分含)	3.0		⑥整容に関連してこころからのしくみと自立に向けた介護	身体状況に合わせた衣類の選択・着脱等	特養 援助係長 北島美沙子	介護福祉士3年以上	介護人形
8月15日(金)	17:30～20:40 (休憩10分含)	3.0						

日付	時間帯	予定時間	科目名	項目名	学習内容	担当者(予定)	講師要件	必要備品等	
8月18日(月)	17:00～ 21:10 (休憩10分含)	4.0 <small>他実習2.0</small> * 別日	こころとからだのしくみと生活支援技術 II 生活支援技術の講義・演習	⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	移動・移乗の基礎知識 負担の少ない移動・移乗等	特養 主任援助員 浅田南	介護福祉士3年以上	介護人形・車いす等	
8月19日(火)	17:00～ 21:10 (休憩10分含)	4.0 <small>他実習2.0</small> * 別日		⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	食事環境の整備等	特養 援助員 三浦延幸	介護福祉士3年以上	自助具等	
8月20日(水)	17:30～ 20:40 (休憩10分含)	3.0		⑨入浴、清潔保持に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護	入浴用具と整容用具の活用 羞恥心への配慮等	特養 援助課長補佐 兼介護支援専門員 成田正和	介護福祉士3年以上	介護人形	
8月21日(木)	17:30～ 20:40 (休憩10分含)	3.0		こころとからだのしくみと生活支援技術 III 生活支援技術演習	⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	排泄環境整備と排泄用具の活用 羞恥心への配慮等	特養 援助係長 青塚佳奈	介護福祉士3年以上	介護人形・オムツ等
8月22日(金)	17:30～ 20:40 (休憩10分含)	3.0			⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	睡眠環境と用具の活用方法 安眠のための介護の工夫等	特養 主任看護師 関みゆき	看護業務3年以上	
8月25日(月)	17:30～ 20:40 (休憩10分含)	3.0			⑫死に行く人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	生から死への過程 死に向かい合うこころの理解等	特養 医務課長補佐 山田真由美	看護業務3年以上	
8月26日(火)	17:30～ 20:40 (休憩10分含)	3.0			⑬介護過程の基礎理解	介護過程の目的・意義 チームアプローチ等	特養 援助課長補佐 加藤梨紗	介護福祉士3年以上	
8月27日(水)	17:30～ 20:40 (休憩10分含)	3.0							
8月28日(木)	17:30～ 20:40 (休憩10分含)	3.0			⑭総合生活支援技術演習	事例演習	特養 援助課長補佐 兼介護支援専門員 成田正和	介護福祉士3年以上	
8月29日(金)	17:30～ 20:40 (休憩10分含)	3.0							
9月1日(月)	17:00～ 21:10 (休憩10分含)	4.0 <small>他実習2.0</small> * 別日			振り返り	①振り返り	研修を通して学んだことの振り返り	特養 援助課長 玉置典子	介護福祉士3年以上
9月2日(火)	17:00～ 21:10 (休憩10分含)	4.0 <small>他実習1.0</small> * 別日	②就業への備えと研修修了後における継続的な研修			継続的に学ぶべきこと等	特養 援助課長 玉置典子	介護福祉士3年以上	
9月3日(水)	17:00～ 19:00	2.0	施設実習			特養 施設長補佐 兼介護支援専門員 阿部珠恵			
9月4日(木) 9月5日(金)	2日間	12.0							
9月5日(金)	17:30～ 18:30	1.0	修了試験						